

お知らせ

- 年間行事予定でお知らせしています通り、23日~25日に保護者会を開催する 予定です
 - ▶ 乳児クラスは 13 時 30 分~14 時 30 分
 - ▶ 幼児クラスは 15 時 00 分~16 時 00 分
- 欠席の場合は、朝9時頃までに電話でご連絡下さい。9時半頃に登園の確認をしています。事故防止のため、子どもの人数確認には細心の注意をしております。連絡のない場合にはお問い合わせの電話をしますので、ご了承下さい。
- 登園確認、体調不良時の連絡も含め、最近、保護者へ電話連絡がなかなかつかない事があります。園からの着信が分かるように設定をお願いします。子どもの体調は急変することがありますので 1 時間以内のお迎えをお願いしております。ご協力下さい。

January 1 2024						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
	1 元旦	2	3	4	5	6
7	8 成人の日	9 運動あそび 発育測定	10 新年子ども会 O歳児健診	11	12	13
14	15 音楽あそび	16 お話びっくり箱	17 運動あそび	18	19 避難訓練	20
21	22 音楽あそび	23 0·3歳児 保護者懇談会	24 ()歳児健診 運動あそび 1・4歳児 保護者懇談会	25 2·5歳児 保護者懇談会	26 誕生会	27
28	29 音楽あそび	30	31 運動あそび			



この一年が皆様にとって幸せな年となることを心よりお 祈り申し上げます。今年は辰年です。辰年生まれの人は、 常識にとらわれない発想力を持ち、好奇心旺盛な行動力 を兼ね備えている人が多いそうです。龍を指す十二支の 「辰」は、アラビアではワニに、イランではクジラに置き 換わっているのだとか。龍は天高く昇る生き物でもあ ります。 さあ!何を始めようか!と、新たな志に向けて チャレンジするのも良いかもしれませんね。

国長 山田春江

世界では厳しい状況が続き、戦火に怯える子ども達もいます。暖かなお部屋で食卓を囲み、家族で団らんできる幸せを大切にしたいですね。「子どもの権利条約」の原則には、生命、生存及び発達に対する権利(命を守られ成長できること)、子どもの最善の利益(子どもにとって最もよいこと)、子どもの意見の尊重(意見を表明し参加できること)、差別の禁止(差別のないこと)とあります。どの国の子どもたちも健康に家族と過ごす平穏な日常が当たり前であって欲しいと心から願っています。

ハートの木~思い出を新しい形に~

くぐったり、ぶら下がったり、シンボルでもあるハートの木は、 子ども達と仲良しです。子ども達と共に陽の光を浴び雨風に耐え 5年目を迎えましたが、木の割れ目に雨水がしみて痛みも出てき ました。コーティングする等でメンテナンスもしてきましたが、 自然の摂理で木は朽ちていくものです。

でも、でも……思い出や思い入れがあってこのまま残したい。室内への移設は、大きさを考えると難しそうです。専門家の方に相談してみると、いくつかの提案がありました。細かく切って「積み木」にする(えっ!カットしちゃうの?)、横倒しにして船みたいなベンチにする(それもありかぁ~)。



「子ども達や職員と相談させて下さい」と話しながら階段を下りてきて、踊り場の棚に設置する案も検討してみました。別れ際にエントランスを出た所で、そうだ!ここなら卒園児も近隣の方も目にできる!! 多少の雨風も避けられるし、壁にとりつけるのはどうでしょう?とアイディアをいただきました。朽ちていくものが新しく生まれかわることに期待も持てます。ハートの木どんな変身をするのかな?



朝の屋上園庭から見上げる空は、毎日違います。青空に雲が薄く 広がり、刻々と形を変えていきます。今日はどんなことがあるか とワクワクする気持ち、どんなことがあっても心が晴れやかであ るように!と力を得る心持ち、今日もいい日でありますように! と願う一日の始まりです。

認定こども園となる最初の年ともなります。ご協力ありがとうございます。これからの変化を希望あるものとして受け入れつつ、子ども達と共に歩んでいきたいと思っています。

~どうしたの?大丈夫だよ!~

2歳児室で友達と言い合いになり、作った物を壊され泣いていた子がいました。

壊した友達だけがいけないわけではなく、泣いている子も大きな声を出したり叩く真似をしたりしていま した。

泣いている子が保育士の方をジーッとみて、声を掛けて欲しいという表情をしていました。行こうとした時に、泣き声に気付いた友達が「だいじょうぶ?」と声を掛けたり、何も言わずに頭をなでたりしていました。友達に囲まれ優しくされると、何だか嫌だった気持ちが少しずつ小さくなっていったようです。壊した友達もその様子をみて、アッ… という表情に変わっていきました。少しすると友達の方から話し掛けに行き、また一緒に遊び始めました。

2歳頃から大人より友達との関わりが増えていきます。遊びはもちろん 一緒に生活している中で、困った時や迷った時に「こうしてみたら?」 と、手を差し伸べてくれる経験をたくさんします。嬉しかった経験をする事で、今度は自分が優しくしようという思いに変わっていきます。 大人がすぐに入って解決するのではなく、子ども同士の関りをそばで見守るなど安心した環境を整えていくことが大切ですね。



主任:中村

~五感を使うチャンス~

主任:黒木

銀座の街を歩いていた時のこと。おしゃれをしてベビーカーを押している親子を見かけました。まだ生後8~10か月といったところでしょうか。小さな手にはスマホがあり、上手にギュッと持っています。スマホの画面にはグルグル動く渦巻やガラガラの動画など赤ちゃんがくぎ付けになるような映像が次々に流れ、赤ちゃんは画面をじっと見つめていました。お母さんは嬉しそうに飾られたウインドウをみています。



銀座の街中ですから自然はありません。しかしそこには、色とりどりのディスプレーがあり、そこを吹く風や人々のざわめきと匂い、日向と日陰の温度差など都会ならではの空気を感じる要素はあります。スマホの画面を注視している赤ちゃんは強い視覚の刺激を受け、五感を働かせるチャンスを失っています。もしかしたら、大泣きして仕方なくスマホを渡したのかもしれませんが……。もったいないなと思いました。

写真は幼児さんが作ったアナベルのドライフラワーの花びらシートで、カサカサと鳴る音と感触を楽しむ O 歳アト組さんです。

今月の園だよりは冬を感じるエピソードを各クラスでとりあげています。今年も子ども達の感性をくす ぐるような取り組みをたくさんしていきたいと思っています。



※今月の表紙の写真は、赤井先生が撮ったナイスショットです。泣いている友達が泣き 止むように、落ち葉をみんなでフワッと飛ばして遊んだ時の写真です。







ようやく冬らしい気候になり、肌寒さも味わいながら 散歩に出かけています。公園には紅葉の落ち葉がいっ ぱい。まるで紅葉の絨毯のようでした。両手につかん で雪合戦のように投げ合ったり、足で踏みしめて音を 鳴らしてみたり、思い思いに遊びました。ふんわり積 もった落ち葉の上に座った K くんは、腰のあたりまで 葉っぱを掛けてもらい「もみじ風呂」に入っているか のよう。幻想的な風景に囲まれ、ゆったりと紅葉狩り を楽しみました。

Atoo

O 歳児室の窓から見える園庭に、夏みかんがたくさん実りました。子ども達が手を伸ばせば届く所にも実があります。 そのうち、自分の重さに耐えられなくなった夏みかんが、 ひとつふたつと自然に落ちてくるようになりました。

始めは手に取って眺めたり、転がしたりして遊びました。 保育者が皮を剥いてみると爽やかな香りが辺り一面に広が りました。子ども達の鼻先に近づけてみると目をパチパチ させたり、「みかん!」と言ったり、様々な反応がありまし た。そっぽを向いていたYくんも、保育者が果汁を絞って 透明容器に入れると俄然興味が湧いたようで、じーっと見 つめて手を伸ばしました。「ジュースかなあ?おいしそうだ なあ」と思ったのかもしれません。

Hくんは保育者の真似をして皮を剥こうと奮闘。指先を使って「おおきい」「すっぱい」と感じたことを口にしながらみかんを細かく分るのに夢中でした。

保育者の動きを見て、学んで、試していることを実感しま した。



Ato1

~秋から冬へ~

谷戸運動公園に散歩に行った日のことです。丸太の椅子に座った A くんが空を見上げていました。どうしたの?と声をかけるとニ コッと笑い再び空を見上げます。A くんの視線の先を見ると、葉 っぱが茶色く色づいていました。青空とのコントラストがとても 綺麗で、保育者も A くんと一緒に空を見上げました。

城山公園のイチョウの木の下が鮮やかな黄色になっていました。 夜のうちに葉っぱが落ちたのでしょう、まるで黄色い絨毯です。 Bくんは大喜びで葉っぱを拾うと空中に投げたり両手に抱えたり して遊んでいました。楽しかったね~と大満足のお散歩になりま した。



"まねっこ"楽しいよ!

茶色い葉っぱの上をCくんがシャカシャカ鳴らして歩くと、それを見ていた子ども達もシャカシャカ……。シャカシャカの行列が笑顔で続きました。Dくんが落葉の上に座るとEくんもトコトコ歩いてきて一緒に座ります。2人が落ち葉の上に寝転がると、今度はFちゃんがやってきて一緒にゴローン。子ども達は真似っこが大好きで、友達と一緒にいろいろなことを経験しています。

木の周りでは子ども達が虫を探していました。見つけたのはアリー匹だけ。「いないねぇ。」と不思議そうでした。

昆虫たちも冬支度を始めましたね。寒さに負けず冬も 思いっきり楽しみたいと思います。









じぶんでできるよ!

寒い日が続いていますが、子ども達は元気いっぱいに遊んでいます。朝のお集まりで園庭や散歩に行く時にすることを子ども達に聞くと「帽子かぶる~!」「上着きる~!」「靴下と靴を履く~!」と教えてくれます。上着のファスナーを閉める時、担任が手伝おうとすると「じぶんでできる!」と言って断り、一生懸命小さな手でファスナーを閉めようとしていました。

ある日 K くんが自分で閉めようと挑戦しますが、涙目で「できない~!!やって!」と言って助けを求めます。保育者が少し手を添えてファスナーを閉めることができると「できた!!」と満足気に外に向かいました。

出来ることが増えてくると自信に繋がり、またやってみようという気持ちになります。

外から帰ってきて着替える際も、自分で洋服の袖を必死で引っ張り 脱ごうとしたり、脱いだ洋服を丁寧に畳もうとしたり、"自分でや りたい"気持ちが溢れています。

時には、"自分でやりたい"気持ちと"できない"ことに苛立ち涙することもありますが、その先にある出来た喜びと達成感を味わえるよう、援助したり見守ったりしています。

Pico2





わたしの宝物

公園に散歩に行くとすぐに下を向き何かを探し始める 子ども達。今の時期は宝物がいっぱい落ちています。

「見て~! 赤い実!」M ちゃんが持って来たのは沢山の 小さな赤い実。「中に何が入っているんだろう~」「ママ に見せてあげるの!」と嬉しそうに見せてくれました。 赤や黄色、茶色の葉っぱを見つけては「これキレイだよ」 「この葉っぱお化けみたい」と、色々な発見を教えてくれます。保育園に帰って来ると、ポケットから沢山の宝 物が出てきます。さて、今日はどんな宝物を見つけてくるのでしょうか……。







Nanos

ようやく寒さが訪れた今年の冬、高根公園に行った時の エピソードです。

なにやら公園内の倉庫裏でいつもよりにぎやかな声が聞こえてきました。その時、数名の子がしゃがみこんでなにかをしているのを見つけ様子を見ていると、どうやらご飯作りがおこなわれているようでした。

見ていた保育者のすぐ横を、急ぎ足で歩いていった K くん。「ナスナス~♪」と歌いながら向かっていく先に ついて行ってみると、まだ枝にくっついていて垂れ下が っているいくつもの枯れ葉たち。黒っぽくなっている葉 を子ども達は"茄子"に見立てていたのです。その発想 力が面白く、つい笑みがこぼれました。





その隣には色付き落ち葉を手に持ち、地面の凹みにドサッと入れる Y くんの姿と、そこの凹みに座り枝で混ぜる動作をする N くん。覗き込む保育者に N くんが「ご飯作ってるんだ~」と教えてくれました。





A くんはソテツの葉っぱを見つけ、ほうきに見立ててお掃除屋さんになり、たくさん掃いてくれていました!子ども達が役割分担しながらご飯を作り、ごっこ遊びを楽しむ姿はとても可愛らしく、心和むひと時でした。



Nano4



どっちが大きなお山を作れるかな?

冬の訪れを感じる今日この頃、寒くなっても子ども達は元気に 散歩にでかけています。公園には落ち葉がたくさん。黄色や赤 い葉は、すっかりカサカサの枯れ葉になっています。A くんと 数人の子ども達は、枯れ葉を集めて葉っぱの山を作っていまし た。そこへ D さんが「入れて」と仲間に加わろうとしました。 でも A くんは、「僕たちだけで作りたい」と言って仲間に入れて くれません。Dさんは悲しそうな顔をして保育者のところに来ま す。そこで保育者は、一緒に別の山を作ることを提案します。D さんは嬉しそうに保育者と枯れ葉を集め始めました。そこへ E くんも加わります。「A くん達よりおっきな山作ろう!」と D さ ん。着々と別の枯れ葉の山が出来上がっている様子を見た A く んは、ライバル心を燃やします。「負けないぞ!」と言って、A くんは度々D さんと E くんの山の出来具合を確認しにやってき ます。そして、より大きな枯れ葉の山を作りました。 でおしまい。僕たちのほうが大きい山作ったからね。」と自慢気 な A くん。みんなで山を崩して、葉っぱを両手いっぱいにすく って、空に向かってまき散らし始めました。それを見た D さん と E くんも同じように自分達の山の葉っぱをすくいあげて、ま き散らしていました。そして、最終的には 2 つの枯れ葉の山は 消えて、葉っぱまみれになった子ども達の笑い声が残っていま した。お互いに競い合いながらも、最後はみんな笑顔になって 帰りました。

パパ先生、ママ先生

現在、保育参加真っ只中です。週に何日かはパパ先生、ママ先生が 来園しています。友達のパパ、ママが来て、子ども達は大喜びで す。時にはパパ先生、ママ先生の取り合いになるくらい大人気で す。一緒にカードゲームをしたり、公園でかくれんぼをしたりして 遊んでいます。お部屋でも公園でも一緒に遊ぼうと子ども達が駆け 寄ります。当の保護者の子ども達はどうでしょう。べったり離れ ず、友達が自分のママと遊んでいると焼きもちをやく子どもや照れ てわざと離れて友達と遊ぶ子どももいます。それぞれ違う様子が見 られるのも楽しいです。

これまでに保育参加された保護者の皆様、子ども達とたくさん遊んで頂きありがとうございました。そして、これから保育参加をされるお父様、お母様、子ども達がとても楽しみにしていますので、どうぞ宜しくお願い致します!



Nano5





【対話しながらあそぶ】

友達と一緒にあそぶことが大好きな子ども達は、時にはケンカをしたり、時には気の合う友達が増えたり変わったりしながら、日々信頼関係を深めています。普段の何気ないあそびの中でも、子ども達の対話力や創造力の強さを感じる場面が増え、感心させられる一方です。

今回はピタゴラ装置をつくってあそんでいたときのことを紹介します。 「ちょっと高すぎる」と、Y君は斜面が急でボールの勢いが強いことを 気にかけ、斜面を緩くしてみました。

Y君「坂で止まるんだよ。スピードが足りない。高さをつけよう。」 M さん「スピード出ないと速く行かない。」

手を動かしながらもお互いに提案し合い、受け入れ、何度も試します。

K君「これだめか~」

Y君「いやいや!諦めるにはまだ早い。」

K君「ちょっとやってみる。」

試行錯誤の末、やっとボールが最後まで行きました。

K君「どんどんやってみよ!」

ケーキプロジェクトや運動会での経験が、自然と意見を出し合ったり友達の考えを尊重したりすることに 繋がっています。また、問題や解決策を言語化したりポジティブに気持ちを変換したりする姿を見ている と、成長を感じると共にその頼もしさに嬉しくなります。そんな子ども達の力が存分に発揮されるよう、 残りの園生活も寄り添い見守っていきたいと思います。





【畑泥棒】

大根を収獲したときのこと。ブロッコリーとカリフラワーは何者かに食べられてしまったことを伝えると、5 歳の探偵達が犯人を突き止めようと考え始めました。「もぐら?」「アリ?」 真相はいかに……。推理は続きます。

大根はというと、味噌ダレにつけて美味しく頂きました!切り干し大根になるまでの 経過も観察しているところです。

【甘えたい!】

園の中では年下の友達を気にかけたり色々教えたり、お手本となる立場として過ごしている5歳ナノ組。 そんな子ども達が、保育参加に来ているママやパパそれから保育者に「一緒にあそぼ〜」と誘ったり抱き ついたりと、時折甘えた姿を見せることがあります。それもそのはず。最年長、毎日頑張っていますから! そんなとき私は、「いつもありがとうね〜たくさん頑張っているもんね〜」と想いを伝えています。 年末年始のお休みではたっぷり家族に甘えて、新年またかっこよくて時々甘えん坊な5歳さんに会えるの を楽しみにしています。 「自分のカタチ? 考え中(5 歳 E くん)」「元気とかヒーローって感じじゃない?(5 歳 Y さん)」 「うん元気だと思う、いつも笑ってるし遊んでるから、じゃあボクはボク(人)のカタチにしよう!」

(E くん)

Atelier

「 世界と、そして未来とつながる力 」

『自分』を表す色とカタチって?
『自分の一番大事』のカタチって?
大人であれば、ほぼ「え?」となるであろう問いかけでしょうが、5歳の子ども達はそれを真っ直ぐに受け止め、考え込むどころか楽しみながら自由に表現します。

冒頭の二人のやりとりは『自分のカタチ』に悩んでいる E くんに、Y さんが自分が感じる E くんの印象をさり 気なく伝えた会話です。E くんはその言葉からイメージを広げ、粘土に『水色・黒・白』の粉絵の具を混ぜ込み『人』のカタチで自分を表します。そして『自分の一番大事』は*「赤ちゃん! だってボクのママのお腹の中*

*に赤ちゃんがいるから!」*と言い、真っ白 で小さな可愛い赤ちゃんを作りました。

できあがった赤ちゃんと自分が、手を繋いだり遊んだりしている動きをしばらく楽しむと、最後は自分が赤ちゃんをおんぶしている姿にしました。

赤ちゃんはまだお母さんのお腹の中ですが、Eくんの心と表情はもうすっかり優しいお兄さんになっているようです。

では E くんの隣にいた Y さんはというと、 「ん~自分は、なんか動物?」 とつぶやき 「モモンガ!! だって可愛いから!」





とイメージが決まります。自分の好きな『水色・黄色・茶色』の粉絵の具をチョイス。さらに粘土の中で3色が





完全に混ざりきる手前のマーブル模様のところで 「キレイ〜!」とストップし、 『自分のカタチってむずいよ〜」と言いながらも可愛いモモンガを誕生させました。そして次は『自分の一番大事』のカタチです。

「大切と言えば、お人形…食べ物…でも一番 の大事は『心やさしい町』でしょ」「町のカ タチはお家(のカタチで表すこと)にする、 町はお家があるって感じだから」

一番の大事は『家』のカタチで表した『心や さしい町』、それをモモンガが空から見守っ

ているという発想に、私は心の底から驚かされました。もちろん E くんや Y さんだけではありません。5 歳の子ども達は、誰もが個性豊かな感性を十分に発揮し、『自分』や『自分の一番大事』を素直に表現しました。子ども達は、純粋に自分自身を通して世界と直接つながっています。対して大人は、様々な経験や知識を持ってしまったが故に、自分自身の感性や感覚で世界とつながるという方法をいつの間にか手放してしまったのかもしれません。この世界に生まれてまだほんのわずかな子ども達は、芽生えたばかりの自分自身の感覚や感性を信じて、そこから目の前の世界とそして未来とつながっていく、そんな素敵な力をもっています。 (文責:一然)



~感染症対策~

園では 11 月頃から胃腸炎(嘔吐・下痢症状)やアデノウイルス、 手足口病などが流行しました。

そして中国や韓国などではマイコプラズマ肺炎が流行しています。日本でもこれから感染者が増加するのではないかと言われているため注意が必要です。

ここ数年はコロナウイルスの影響で、コロナ以外の感染症が流行しなかったこともあり、他の感染症に対しての免疫力がないお子様が多くいます。そのため普段より感染症に罹りやすく、感染が広がりやすい傾向にあります。

感染症予防には手洗い・うがいが欠かせません。特にアデノウイルスはアルコール消毒が効きにくいため、手洗いをすることがとても大切になります。



~手洗い指導~

手洗いチェッカーを使って、どのくらい汚れがついているのか確認しました。白く光っている場所が汚れです。手洗いをしていない手にはびっしり汚れがついているのが分かります。手洗いをしてからもう一度見てみると、まだ汚れはついていますがだいぶきれいになっています。トイレに行った後や外から帰宅した後に手洗いをせずにそのまま食事をしていたら、こんなにたくさんのバイ菌を一緒に口へ運んでいることになります。帰宅したらまず手洗いをする、トイレの後は必ず手洗いをするという習慣を身に付けるようにしましょう。

そして爪の間は特に汚れが残りやすいです。爪が長いと手洗いをしても爪の中に汚れが残ったままになってしまうため、爪はこまめに切るようにしましょう。

子ども達は汚れを確認しながら何回も手を洗っていました。全てきれいに落とし切るのには、だいたい 4 回くらい手洗いが必要でした。1 回で汚れがきれいに落ちるように手洗いができるといいですね。

手洗い前



手洗い後







発育測定 1月9日(火)

〇歳児健診 1月10日(水)

1月24日(水)

1月保健指導 「体の仕組み」



あけましておめでとうございます!

寒さが厳しい時季ですが、早寝早起きと栄養満点の食事を心がけ、元気いっぱいに新年のスタートをきりま しょう!今年も子どもたちの体調に配慮しながら、安全でおいしい給食をつくってまいります。

アアルテの畑から

給食室に3本の大きな大根を「アルテでとれた大根です」と5歳ナノ組さんが届けてくれました。その大根は、おやつの時間に"ふろふき大根"になってみんなのもとへ!「この大根とったんだよー」「5歳さんがとってくれた大根おいしい!」「かぶみたいだね~」「ちょっと苦手かも…」なんてお話をしながら、楽しいおやつの時間になりました。いろんな形の切り干し大根も作っています。どんな風にできあがるか楽しみですね。



▲ 1月の行事食

1/5 (金) 人日の節句

〔おやつ〕

七草おにぎり

1/26(金)お誕生日会

[昼食]

ご飯、鶏のから揚げ、花野菜のマリネ、 みそ汁、みかん

〔おやつ〕

お誕生日ケーキ。





1月7日は人日の節句といい、初春に摘める7種の野草の入った粥を食べ、1年間の無病息災を願う日です。 ~「行事の由来と行事食」より~

春の七草 いくつ言えるかな…?



冬の野菜

地面の下では養分を蓄えた大根、れんこん、ごぼうなどの根菜類が大きく太っています。白菜、小松菜、冬締めほうれん草などの葉ものも味が濃くなる季節です。 ~「旬の野菜の栄養辞典」より~

12月の旬の食材

カリフラワー、キャベツ、ごぼう、小松菜、春菊、セロリ、大根、長芋、ねぎ、白菜、ブロッコリー、 ほうれん草、水菜、れんこん

